

# 「子供、未来のために」

炎天下に脱原発を訴える市民の声がとどろいた。東京都渋谷区の代々木公園で16日に開かれた「さようなら原発10万人集会」には、東京電力福島第一原発の事故後にデモや集会に参加し始めた若者や家族連れの姿が目立った。事故対策も不十分のまま原発が再び動き出したことへの怒り、将来への不安、政治への失望。集まった人たちに思いを聞いた。

【安高晋、平林由梨】

## 脱原発10万人集会

午前11時、メイン集 樹さん(38)は同僚の男 会開始まで2時間近く 女6人と赤一色の手作 あるのに、会場へ向か りの幕を掲げた。「N う道は人であふれ、な O NUKES」「な かなか進めない。

東京都八王子市の飲 首相官邸前で毎週金曜 食店経営、飯田弘樹さ 日に開かれる抗議行動 ん(50)は妻(47)、長女 に、今春の開始当初か (15)、次女(14)と会場 ら参加した。「原発セ にたどり着いた。集会 口でも数カ月間やって やデモに参加するのは ころれた。なぜ再稼働 初めて。「今日が脱原 なのか。許せないとい 発に向けた転換点にな う気持ちを一つにして ると思った。その場に ぶつけたかった」

家族と立ち会いたかっ 2人の子を連れた川 た」。娘たちには4月 崎市多摩区の江田智華 ころから予定を入れな さん(33)は「普段は原 発をどう思うか親しい よう伝えてきた。 発をどう思うか親しい 人にも聞く機会はな 正午前、メイン会場 にも参加して見て、同 塚市の会社員、岡田直 じょうに思っている人

## 目立つ家族連れ、若者

がこんなにいると実感 覚。このうねりを目の 運動のイメージしかな できた」と、人があふ 当たりにすると、日本 かったが「団体の旗が 変わると思える」 少なく、昔とはずいぶ 午後1時半を過ぎる 午後1時半を過ぎる ン変わった」と感慨深 げ。「若い人の考えが 反映されない世の中に なっている気がする。 午後4時、約3キロの 谷区)。幼児を連れた 若い夫婦が芝生に腰掛 け談笑していた。原発 について考えた夏の 日を見極める市民の感 年前に見た過激な学生 長女を抱き、4歳の長

た。実際に原発事故が 起き、しよく罪の思い 脱原発イベントへの初 参加だ。デモには数十 裕香さん(32)は1歳の 長女を抱き、4歳の長



「さようなら原発10万人集会」でデモ行進する参加者―東京都港区で16日午後3時57分、武市公孝撮影